

## 内装材使用面積計算書

事業タイプ ※該当するものに○	○ 県内新築タイプ ・ 県外新築
申請者氏名	岐阜 太郎

◆JAS 製品の場合 JAS 区分を記入  
 機械等級区分構造用製材  
 人口乾燥構造用製材  
 構造用集成材

部材名称	樹種	規格			数量 (枚)	内装材使用面積 (m <sup>2</sup> )		ぎふ証明材 最終証明者 会社名・ 登録番号	性能表示材等認定工場名・認定番号 又はセンター検査番号		使用箇所 (該当箇所に○)			
		厚さ (cm)	幅 (cm)	長さ (m)		うち、性能表示材等 加算面積(m <sup>2</sup> )	※加算の場合記載		JAS	床	壁	天井		
床板	杉	1.5	30	1.8	80	43.2	43.2	○○産業(株) 第060021号	○○産業(株)第 ○○○号			○		
壁板	桧	1	30	0.9	30	8.1	8.1	○○産業(株) 第060021号	○○産業(株)第 ○○○号				○	
計						①	②							
うち、JAS 製品使用面積														
うち、ぎふ性能表示材使用面積														

◆規格・枚数を記載するのが難しい場合(例:坪数で納品、塗り壁材を使用)は、内装材使用面積のみの記載で良い

◆「ぎふ証明材」を出荷した最終流証明者の「会社名」+「事業者登録番号」を記載

◆「性能表示材」を使用した場合、「認定工場名」+「認定番号」又はセンター検査番号を記載

◆どこに使用した内装材(床・壁・天井)であるか○を付ける

◆補助対象面積計算書

	補助対象面積(m <sup>2</sup> )
① 内装材使用面積	51.3
② ①のうち、性能表示材等加算面積	51.3

◆補助の対象となる内装仕上げ材の納品書の合計面積  
 ※面積計算根拠の数字(実際使用した量)でなくてよい